

## 地味だけど静かな山歩きを楽しめるかも 矢平山

実施日 2015年3月22日(日)  
 天候 晴れ  
 リーダー 白石 恵美子  
 参加者 若村勝昭、若村貴世子、斎恵美子、白謙子、涌井良明、山崎富美江、石恵美子、石附智江、遠井謙策、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、小名秀鋭、瀧澤きよの、渡邊悦子 計15名  
 費用 電車 820円(高尾起算)  
 タイム 梁川駅(8:50)寺下峠登山口(9:20)寺下峠(10:45~10:55)矢平山(11:35~12:12)旧大地峠(12:26~12:30)大丸(12:45)お座敷の松(13:00-13:05)河合峠(13:40)四方津駅(14:10)

今日は風もなく暖かく登山日和だ。梁川駅から総勢15名。車道を歩くこと約30分で登山口に到着。

植林帯に入り、薄暗い谷筋の道を水道管に沿ってしばらく辿ると、小さな平坦地の鞍部に出る。道は南西に方向を変え、作業道を左に見送って尾根沿いをいく。

再び沢沿いの道を辿り、何度か沢を渡り返す。途中、沢沿いと沢とほぼ平行の斜め右上の道の二手に分かれるところで、「寺沢峠」の標識は右上を指していたが、どちらの道も行けそうなので(前回は右上の道を行った)どちらに行こうか迷っていたところ、W氏が、「迷った時はこうするのです」とやおらストックを倒し、ストックが指し示した右斜め上方向を指し、「はい、こっち」というわけ



でストックのお告げ通り、そちらへ進む。W氏もリーダーもかなりいい加減ではあるが、幸い間違っただけで進んでからまた沢に降り更にまっすぐ進むと道がなくなった。あれっと思って見回すと、後ろの方にいた誰かが、「こっちが道だ」と左の方を指さす。リーダーを含め、ついてきた7~8人が数分下って正しい道に戻る。リーダーは「リーダーも間違えることがあるので、めいめいが道を確認しながら

歩かなくてはいけないということですよ」なんて責任逃れ的なことを言って開き直っている。でもホントでしょ？下ばっかり見てないで、周りを見ながら歩かねばと反省もしています。そこから、ロープの張られた荒れた急斜面を登る。そこを過ぎると雑木林の中のしっかりした道になる。

左手(東方)にこんもりした矢平山が見える。やがて寺下峠に着き、小休止。

そこから丸ツツク山も登るつもりだったが、山頂の手前で直登する道を見落とし巻いてしまった。

両手も使わないと登れない程の岩場の急斜面を登る。所々ロープも張られている。急斜面が終わって、山頂かな(?)と思わせる平坦な尾根道を右(東)へ進むとすぐに小広く開けた矢平山の山頂に着く。展望はない。日曜なのにこぶし会ご一行



様の貸切だ。

ランチを済ませ、証拠の集合写真を撮り、下山開始。小ピークを越えて尾根通しに下ると、直進する道と右へ下る道がある。

うっかりまっすぐ行きそうになるがその道は通せんぼの木が置いてあるので、右折し南面を下り、旧大地峠に着く。

大丸へは左(東)の山腹道に行く。大丸分岐から5分弱で眺望の良い大丸山があり、下見の時は寄ったが本番では寄り忘れた。右下に林道を見ながら下る。

この道は高柄山へ行く時に登る道だ。林道を横切り、再び登山道に入る。所々崩れかけたトラバース(滑落死亡事故も起きていたらしい)があるので要注意。お座敷の松で小休止。標識はなかったと思うが河合峠を経て四方津駅へ向かう。

今日は素晴らしい展望もなく、花は黄色いアブラチャンとキブシくらい。久しぶりのリーダーのため緊張して色々間違えたせいも、予定よりも短い山行になってしまい、歩き足りない方もいられたようですが、皆さん静かな山歩きを楽しんで頂けたでしょうか。

また一緒に歩いて頂ければ嬉しいです。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)